

#### 第48回日本癌治療学会一般演題（示説2演題）

セッション名；乳癌治療・その他

セッション日時；2010年10月28日（木）17：00－18：00

発表会場；国立京都国際会館 1F 特設テント会場

乳腺 Mucocele-Like Tumor；MTL の一例

牧 典彦 牧リハビリテーション病院

42歳女性。2006年春左乳房に小指大のしこりに気づく。近医受診され吸引細胞診の結果、粘液癌の疑いありと診断され手術を前提に入院を勧められた。当院にセカンドオピニオン目的にて受診され外来通院となった。6か月経過しても左乳房の腫瘍はMRIでサイズは不変であったため、近医で施行された吸引細胞診のスライドを取り寄せ当院病理外来で検討した。その結果 Mucocele-Like Tumor と診断した。その後18か月後のMRIでも腫瘍サイズは不変であった。Mucocele-Like Tumor の診断に遭遇する機会は少ない。稀な乳腺良性疾患である本症例の吸引細胞診、乳腺エコー、MRI画像の特色を示す。

セッション名；子宮頸部臨床研究1

セッション日時；2010年10月30日（土）14：00－15：00

発表会場；国立京都国際会館 1F 特設テント会場

子宮頸癌検診にてクラス3bであった2症例の自然経過

牧 典彦 牧リハビリテーション病院

症例1) 32歳女性。毎年子宮頸癌の検診を受け正常であったが2007年6月クラス3bの診断にて要精査となった。一か月後の子宮鏡検査で生検の結果ではCIN1であり経過観察となった。その後半年毎の検診ではクラス2で経過している。

症例2) 34歳女性。子宮頸癌検診にてクラス3bの診断でレーザーによる円錐切除を受けた。切除標本では上皮内癌であったが、子宮側切除断端陽性のため、単純子宮全摘の予定であった。患者の強い希望で手術は延期され、再度一か月後子宮頸管内搔爬するも上皮内腺癌を疑われる異型細胞は認められなかった。その後は検診にてフォローとなっている。子宮頸癌は検診が有効な癌であるが、検診の結果3bと診断された後自然治癒症例も散見される。しかし、自然治癒の過程については不明である。子宮頸癌検診で3bと診断された後、経過観察し得た2症例の自然治癒の過程をIL-12活性、IL-10活性、ヒトIF $\gamma$ 、リンパ球数を測定し考察する。